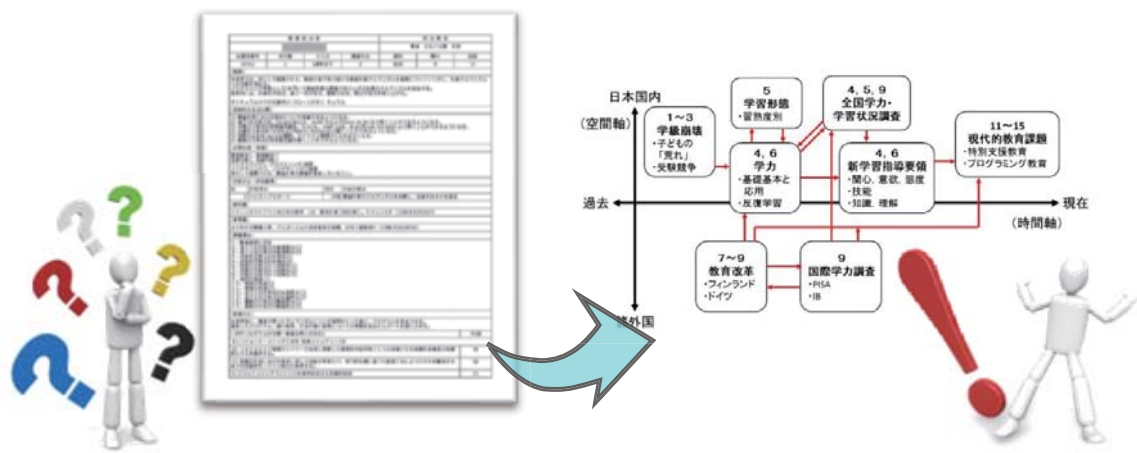


グラフィックシラバス — 授業内容を魅せるポンチ絵 — をつくるワークショップ



1月11日(金) 16:30~18:30

会場：工業会館3階 アクティブラーニング教室
(ワークショップにつき、遠隔配信は行いません)

<お願い>

グラフィックシラバスに書き起こすご自身のシラバスをご持参ください

シラバスは教員と学習者の授業内容に関する『契約書』ですが、その中身を把握している学習者は少なく、また、教員も前年度のものを見直すことなく使ってしまうことも多いのではないのでしょうか。本会では、授業内容を魅せる**グラフィックシラバス**という道具を参加者のみなさまに提供します。

グラフィックシラバスは、授業で扱われる重要な概念間の関係を描き表すものであり、学習者は授業全体の構造を把握し、自身の理解度を振り返ることができます。教員自身も、グラフィックシラバス作成を通して授業内容の再確認・再発見・再構築をすることができます。グラフィックシラバスという名前がついていますが、作成にあたっては絵心を必要としません。

講師の根岸千悠先生（大阪大学全学教育推進機構特任助教）は、2014年から続く大学教員養成プログラム（ブレFD）の中でグラフィックシラバス作成を通じた授業設計の指導を続けてこられました。ワークショップの冒頭で根岸千悠先生に作成のポイントと流れをご説明いただき、ふせんに授業要素を書き上げるところから始めます。ワークショップ終了後には授業中に提示できるものが完成し、ご自身の授業に活用いただけるようになります。